



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 シーティーエス 上場取引所 東  
 コード番号 4345 URL http://www.cts-h.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横島 泰蔵  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務部長 (氏名) 北原 巻雄 TEL 0268-26-3700  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,478	4.4	815	9.4	802	10.4	551	11.6
2019年3月期第2四半期	4,288	5.0	745	7.9	726	8.0	494	6.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 545百万円 (10.6%) 2019年3月期第2四半期 493百万円 (4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	12.92	—
2019年3月期第2四半期	11.39	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,117	7,410	61.2
2019年3月期	12,057	7,120	59.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,410百万円 2019年3月期 7,120百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
2020年3月期	—	6.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～平成2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	10.3	1,740	9.4	1,700	9.0	1,200	12.5	28.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	43,400,000株	2019年3月期	43,400,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	720,845株	2019年3月期	720,845株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	42,679,155株	2019年3月期2Q	43,394,763株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の当社グループの主要顧客である土木・建築業界を取り巻く環境につきまして、公共投資・民間投資ともに底堅く推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2019年3月期から2021年3月期までの3ヵ年を対象にした中期経営計画を策定いたしました。当社グループは建設ICTの専門企業として、その中核となる中期経営方針に下記の4項目を掲げ、この方針を基に事業を着実に展開してまいりました。

- ・土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大
- ・地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大
- ・建設ICTの独自商品・サービス強化及びシェア拡大
- ・営業体制・機能の強化による生産性向上及び市場開拓

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4,478百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は815百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

注力事業の建設ICT（システム事業・測量計測事業）においては、新規顧客開拓等を積極的に進めた結果、当事業の売上高は3,623百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

利益面では、売上高の増加により、売上総利益が1,616百万円（前年同期比5.3%増）と堅調に推移しました。建設ICT（システム事業・測量計測事業）への人員増加策及び処遇改善による人件費の増加などにより、当事業の販売費及び一般管理費が925百万円（前年同期比5.0%増）となりましたが、売上総利益の増加により営業利益は691百万円（前年同期比5.6%増）となりました。その結果、グループ全体としては、売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において前年同期を上回る実績となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の実績は、下記表のとおりとなりました。

## ▼当社グループ

(単位：百万円、%)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同期比
売上高	4,288	4,478	4.4
営業利益	745	815	9.4
営業利益率	17.4	18.2	0.8pt
経常利益	726	802	10.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	494	551	11.6

## ▼建設ICT

(単位：百万円、%)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年同期比
売上高	3,443	3,623	5.2
営業利益	654	691	5.6
営業利益率	19.0	19.1	0.1pt

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<システム事業>

当事業につきましては、建設現場事務所用のモバイル回線を中心に、業界に特化した入出力機器・サービス等（MF P・ネットワークカメラ等）のレンタル・販売に関して、新商品・サービスの拡充等による商品力の強化、新規顧客の開拓等を積極的に展開した結果、受注を順調に確保することができ、当事業の売上高は1,900百万円（前年同期比13.2%増）となりました。利益面は、中期経営計画に基づく積極的な人員増加策に伴う人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。売上高の伸長と売上総利益率の向上により売上総利益が増加し、セグメント利益（営業利益）は440百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

<測量計測事業>

当事業につきましては、測量機器及び計測システム等のレンタル・販売に関して、昨今の人手不足や国土交通省が推進するi-Construction対応工事の需要等により、ワンマン測量システムのレンタル及び大型案件の販売は堅調に推移しましたが、一方で、2019年4月にリリースした転圧管理システム「Geo-Press Cloud」のレンタル稼働が想定を下回っていること等により、当事業の売上高は1,723百万円（前年同期比2.4%減）となりました。利益面は、ワンマン測量システム等のレンタル売上高の増加に対し、測量機器販売の増加が大きかったこと、転圧管理システム「Geo-Press Cloud」のレンタル稼働が想定を下回っていること等により売上総利益率が低下し、売上総利益が減少いたしました。その結果、販売費及び一般管理費においては営業活動の効率化により前年同期を下回りましたが、セグメント利益（営業利益）は250百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

<ハウス備品事業>

当事業につきましては、建設現場事務所用ユニットハウス及び什器備品等のレンタル・販売に関して、既存顧客への営業等を積極的に展開しましたが、シェア確保に伴う厳しい受注競争によるレンタル単価下落等により、当事業の売上高は541百万円（前年同期比2.3%減）となりました。利益面は、レンタル原価、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、セグメント利益（営業利益）は84百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

<その他>

その他につきましては、売上高は313百万円（前年同期比7.9%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は39百万円（前年同期比354.9%増）となりました。

▼セグメント

（単位：百万円、%）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	前年同期比
システム事業			
売上高	1,678	1,900	13.2
セグメント利益	384	440	14.5
セグメント利益率	22.9	23.2	0.3pt
測量計測事業			
売上高	1,765	1,723	△2.4
セグメント利益	269	250	△7.1
セグメント利益率	15.3	14.6	△0.7pt
ハウス備品事業			
売上高	554	541	△2.3
セグメント利益	81	84	3.4
セグメント利益率	14.8	15.6	0.8pt
その他			
売上高	290	313	7.9
セグメント利益	8	39	354.9
セグメント利益率	3.0	12.6	9.6pt

## （2）財政状態に関する説明

## （資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は12,117百万円となり、前連結会計年度末と比較して60百万円増加いたしました。これは主にその他流動資産が427百万円増加した一方で、現金及び預金が188百万円、たな卸資産が225百万円減少したことによるものであります。

## （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は4,707百万円となり、前連結会計年度末と比較して229百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が222百万円減少したことによるものであります。

## （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,410百万円となり、前連結会計年度末と比較して289百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益551百万円を計上した一方で、剰余金の配当256百万円を行ったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は61.2%となりました。

## （キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は6,054百万円となり、前連結会計年度末と比較して188百万円減少いたしました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は453百万円（前年同期は691百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益811百万円、資金支出を伴わない費用である減価償却費400百万円による資金の獲得に対して、仕入債務の減少額524百万円及び法人税等の支払額270百万円が充当されたことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は18百万円（前年同期は156百万円の使用）となりました。これは主に、コーポレートガバナンス・コードの政策保有株式方針に基づき実施した投資有価証券の売却による収入25百万円に対して、無形固定資産の取得による支出27百万円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は623百万円（前年同期は600百万円の使用）となりました。これは、リース債務の返済による支出367百万円及び配当金の支払額255百万円によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第2四半期連結会計期間の業績が概ね計画通りに推移しており、2019年4月26日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,243	6,054
受取手形及び売掛金	1,543	1,614
たな卸資産	763	538
その他	140	568
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	8,683	8,771
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	1,614	1,670
その他（純額）	1,545	1,468
有形固定資産合計	3,160	3,138
無形固定資産	43	60
投資その他の資産		
その他	170	148
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	169	147
固定資産合計	3,373	3,346
資産合計	12,057	12,117
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	789	567
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	293	281
その他	1,767	1,700
流動負債合計	3,850	3,548
固定負債		
リース債務	937	1,004
その他	147	153
固定負債合計	1,085	1,158
負債合計	4,936	4,707
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	425	425
資本剰余金	2,399	2,399
利益剰余金	4,721	5,016
自己株式	△460	△460
株主資本合計	7,085	7,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	29
その他の包括利益累計額合計	34	29
純資産合計	7,120	7,410
負債純資産合計	12,057	12,117

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	4,288	4,478
売上原価	2,462	2,549
売上総利益	1,825	1,928
販売費及び一般管理費	1,079	1,112
営業利益	745	815
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取地代家賃	1	1
その他	0	1
営業外収益合計	3	3
営業外費用		
支払利息	21	16
その他	0	—
営業外費用合計	21	16
経常利益	726	802
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	—	9
税金等調整前四半期純利益	726	811
法人税、住民税及び事業税	232	259
法人税等調整額	△0	0
法人税等合計	232	260
四半期純利益	494	551
親会社株主に帰属する四半期純利益	494	551



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	494	551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△5
その他の包括利益合計	△0	△5
四半期包括利益	493	545
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	493	545
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	726	811
減価償却費	409	400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△2
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	21	16
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△9
売上債権の増減額(△は増加)	95	△95
たな卸資産の増減額(△は増加)	32	225
仕入債務の増減額(△は減少)	△278	△524
その他	△62	△82
小計	943	739
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△21	△16
法人税等の支払額	△232	△270
営業活動によるキャッシュ・フロー	691	453
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△149	△14
無形固定資産の取得による支出	△3	△27
投資有価証券の売却による収入	—	25
その他	△3	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156	△18
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△383	△367
配当金の支払額	△216	△255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△600	△623
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65	△188
現金及び現金同等物の期首残高	6,390	6,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,325	6,054

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,678	1,765	554	3,997	290	4,288	—	4,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,678	1,765	554	3,997	290	4,288	—	4,288
セグメント利益	384	269	81	736	8	745	—	745

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,900	1,723	541	4,165	313	4,478	—	4,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,900	1,723	541	4,165	313	4,478	—	4,478
セグメント利益	440	250	84	776	39	815	—	815

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。